岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本方針（案）概要版

～子どもたちが望ましい教育環境を提供するために～

平成30年度末に、現行の中・小学校配置計画の適正化目標を達成するため、今後の児童生徒数の見通しや学校の役割を踏まえ、新たな基本方針を策定することを決定しました。

基本方針の策定において、岩見沢市の子どもたちの将来を支えて、望ましい教育環境を提供することができる最善を尽くすこと、地域の特性を反映した教育方針を実現することを重点に設け、今後の教育改革に向けた方向性を示すことが必要であると判断されます。

児童生徒数の減少により学校が小規模化し、望ましい教育環境の提供が困難になることが懸念されます。

【教則】
岩見沢市の児童生徒数は、平成30年5月1日現在、5,577人（児童480人）と年間約300人減り続けており、10年後には4,076人となり、56年間の10年は児童の減少が見込まれます。

児童生徒数の減少により、学校の規模が縮小し、望ましい教育環境を提供することが困難になることが懸念されます。

【基本方針】
岩見沢市の教育長は、以下の基本方針を策定する必要があると提案しました。

1. 子どもたちが望む教育環境を実現するためには、学校の規模を適正化することが必要である。
2. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。
3. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。

【基本方針の策定】
岩見沢市の教育長は、以下の基本方針を策定する必要があると提案しました。

1. 子どもたちが望む教育環境を実現するためには、学校の規模を適正化することが必要である。
2. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。
3. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。

【基本方針の策定】
岩見沢市の教育長は、以下の基本方針を策定する必要があると提案しました。

1. 子どもたちが望む教育環境を実現するためには、学校の規模を適正化することが必要である。
2. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。
3. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。

【基本方針の策定】
岩見沢市の教育長は、以下の基本方針を策定する必要があると提案しました。

1. 子どもたちが望む教育環境を実現するためには、学校の規模を適正化することが必要である。
2. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。
3. 学校の役割を果たし、地域社会との連携を図るためには、児童生徒数を適正に維持することが必要である。